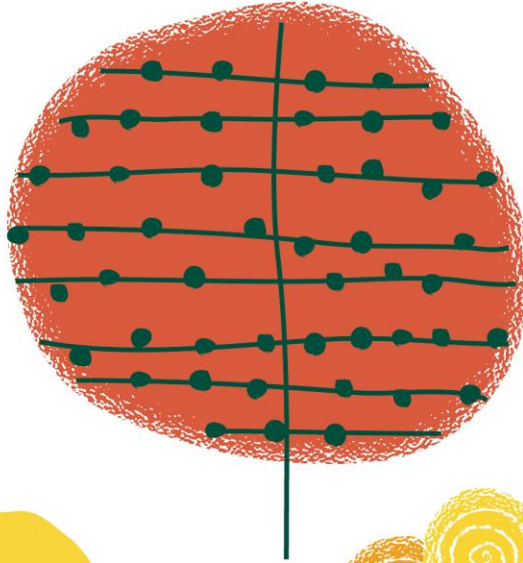


社会福祉法人 種の会 アルテ子どもと木幼稚園
〒164-0001 中野区中野 1-59-5
Tel 03-3365-0602
ホームページ URL <http://www.tanenokai.jp/>

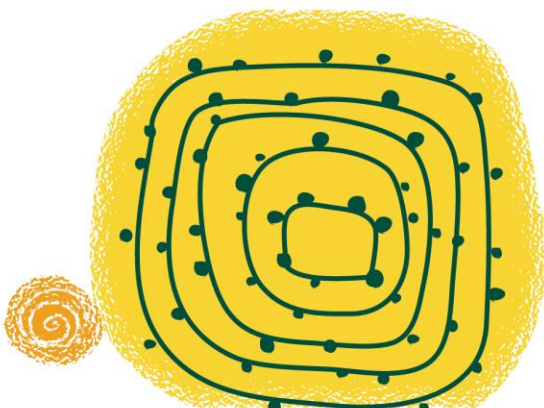


ArteKodomotoKi



11

えんどうより



お知らせ

・新園舎での生活についてのお知らせは10月28日に配布した“新園舎でのお願い”をお読みください。わからないことなどは遠慮なくご質問下さい。子ども達の過ごしやすさを最優先に考えて参りますので、今後変更もあると思いますが、何卒ご理解ご協力をお願い致します。

・帽子はクラスのカラー帽子を使用します。これまでご家庭の帽子をご用意いただきありがとうございました。

・個人面談（保育参観）に関しては後日お知らせ致します。

November 11 2020						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2 新園舎へ	3	4	5 0歳児健診 音楽あそび	6	7
8	9 発育測定	10 運動あそび ミニ音楽会	11	12 音楽あそび	13	14
15	16	17 運動あそび	18	19 音楽あそび	20	21
22	23	24 運動あそび	25 誕生会	26 音楽あそび	27 避難訓練	28
29	30					

0歳児健診の2回目は園医さんの都合により5日以降にきまります。

アルテ子どもと木幼稚園のはじまり

園長 山田寿江



新園舎での生活がスタートです。エントランスから「木の匂いがする！」と、心はずむ声が聞こえてきました。両手を広げたハグの木が「ようこそ」とみんなを迎えてくれます。子どもも大人もいきいきとした暮らしの中で、これからに向けての道を共に歩いていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

自然木は新園舎のあちらこちらに配置され、さっそく子どもたちと関わりを深めています。そうの木々の幹に入り居心地の良さを感じたり、ねじれが特徴の奄美ツツジの木によじ登ったり、ハートの木にギュ〜っと抱きついたり、ぶら下がったりと子ども達は木と仲良しです。動物のお尻？の木は、大人もしっくりくるカーブに腰掛けるとメリーゴーランドのようです。

門扉の前や園庭には、たくさんの種類の草花や木が植えられています。実のなる木もあり、生きている自然を五感で感じ、その豊かさや美しさに触れることのできる環境です。世の中が直面している環境問題に向きあう、これからの時代の子供達に、自然と共存していくことの大切さを知ってもらえたらとも思っています。

壁の珪藻土は吸湿と吸音の役目もあり、ザラザラとした感触は、昔から日本家屋に取り入れられてきた塗壁と似ています。外観の印象とは違い、内装は昭和育ちの私にとって、どこか懐かしさのある空間でもあります。

この新しい生活の場で、子どもたちは日々遊び、関わり、学び、様々な力を発揮していきます。私たち保育者は、どの子どももその子らしく生活を送ることができるように、その内面により添い成長を支える存在でありたいと思います。



今年の運動会も雨、ホールでの開催でした。天候という自然に力は及びませんが、コロナ禍での様々な思考錯誤と工夫は職員力となりました。今後に活かしていきたいと思っております。

当日のエピソードから。3歳児クラスのミニパラバルーンの演技の途中、別のパラバルーンに移動する際に、友だちみんなが位置につく中、Aちゃんはもう一回りして、空いている場所を見極めて位置に着きました。状況を見ての行動に、ただただ感心でした。

4歳児クラスのBくんは、フラフープを手で回して演じました。その指先が何ととても器用で、つい見とれてしまうほど。みんなと違う回し方での堂々とした姿は印象的で、その表情は凛としていました。一人ひとりが持つ力が、それぞれに発揮された運動会。成長の一場面として、心に刻むことができたのではないのでしょうか。

アート展に向けて、子ども達の興味や関心から広がった取組みが、新しい環境で次への活動へとつながっていきます。それぞれの発見や発想が、友だちと刺激し合って、どんな表現として形となるのか、そのプロセスもまた楽しみです。どうぞご期待下さい。

新園舎内覧会の折り、沢山の保護者の方や近隣の方々に屋上園庭を褒めて頂きました。私も初めて屋上園庭に上がった際には感動しました。4歳児のAさんも屋上園庭が一番気に入ったと話してくれました。彼女は、きっと鳥が来るだろうと言いました。どんな鳥か尋ねると「フクロウが来ると思うよ、でもね、夜だからみんな寝ていて気が付かないの。近くに来てフーフーって鳴いたら良いんだけどね。そのフクロウは木に逆さまにとまるの。だからとまれる木があると良いね。フクロウが来るようにお菓子を置いておこうよ。それはね、小さいお菓子でね、猫ちゃんが食べてるおやつが好きだと思うの」と言うのです。子どもの想像力はいつも私を夢の世界に連れて行ってくれます。新園舎の屋上園庭で、子ども達と探究探索やアートを楽しめる時が来るのを楽しみにしています。

子どもとの関わり方について考えるエピソードがありました。

運動会前の出来事です。5歳児がパラバルーンの練習をしていました。始まってすぐ、Sさんの左手首についていた手飾りのポンポンが外れてしまいました。彼女は手が届くところにある自分のポンポンをじっと見つめながら競技を続けています。大きくバルーンが膨らむとポンポンは勢いよく飛び跳ねてSさんの足元に落ちました。彼女の顔が曇った瞬間、私は走り出していました。バルーンをつかんで彼女にポンポンを拾わせたのです。



“素敵な選タクシー”というドラマをご存知ですか。乗車すると自分がやり直したい時間に戻してくれるタクシーです。人生にはたくさんの分岐点があります。もし私が、あの時に走り出さなかったらどうなっていたでしょう。Sさんが自分で考えて行動するチャンスを私は奪ってしまったのかもしれませんが。

子ども達には、それぞれの未来の人生を力強く歩いて欲しいと願っています。目の前の道が凸凹で砂利のある歩きにくい道でも、工夫したり友達に助けってもらったりしながら歩くことで、強い足に育って欲しい。保育の中でも子育ての中でも、大人はつつい先回りして子どもが困らないようにあれこれやってしまいがちです。もちろんそれも愛情ではあるのですが、子どもが新しい経験をするのを見守ることも大切なことです。今回は私が先回りして歩き易い道を用意してしまいました。もしかしたら、あの後、子ども達の感動的なドラマが見られたかもしれないのに…と少し後悔するエピソードです。



0さいアト組



“新園舎に行って来ました！！”



・お部屋を探検！あちこち探索！！

“なんか楽しそうなところに来たなあ”

つくし組の子ども達は新しいお部屋に入ると、全てが目新しく興味津々…。あっちへ行ったりこっちへ来たりと、まずは歩いたり、ハイハイしたり、キョロキョロと見渡す姿がありました。

大きな鏡を見つけると不思議そうに近付いて自分の顔をじいーっと見つめる子、思わずはしゃいで嬉しそうに走り出す子、お友達と柵の間から「ばあー！」と顔を出して遊び始める子、とみんな楽しみ方は様々です。



黄色、黄緑、オレンジ色のクッションが付いているベンチを発見。早速、並んで座り、座り心地を確かめているよう。

ちょうどお部屋を見渡せる場所にあり、3人で並んで座りながら、まるで新しいお部屋を観察しているようにも見えました。

・緑豊かな園庭にも出てみたよ！

つくし組のお部屋の前に、緑豊かな園庭が見えます。窓からのぞいていた子ども達。靴を履いて出てみると、ヤツデの葉っぱを見て、目を輝かせながらそおっと触っていましたよ。きっと初めて目にしたのかなあ。どんな感触でどんなふうにしたのかな。表情がとても素敵ですね。



大きな落ち葉を見つけると、大事そうに手にしながら、見せてくれました。仮設園舎の園庭はとても広くていっぱい走り回ることができますが、砂ばかりで植物やいきものなどの自然に触れる機会が少なかったですよ。新園舎は草木がたくさんあって、緑がいっぱいの自然豊かな園庭になります。この素敵な園庭で遊ぶつくし組の子ども達全員の姿を思い浮かべると、今からとても楽しみで、待ち遠しいです。



This month's songs

- ♪大きな栗の木の下で
- ♪やきいもグーチーパー



1さいアート組



新しい保育園に行ってきたよ



11月から過ごす1歳アート組のお部屋に入ってみると、初めて見るすべての物に大興奮の子ども達。多くの子ども達が最初にしたことが「椅子に座ってみる。」ということでした。大人にとっては「ただの椅子。」のように見えますが、子ども達にとっては「目が輝くほど素敵なモノ。」に見えていたようです。



気になるものは子ども一人ひとり違います。タオルかけに貼ってあるお友達の写真が気になる子もいれば、なんと突然手を洗い始める子も。新しい蛇口には透明で青いかっこいい持ち手がついているのですよ。

園庭には何があるかな？

園庭に行くとすぐに大きな木が目飛び込んできます。近づくと空洞になっていることに気づき、まずはしゃがんで観察していました。「入っても良さそう。」と感じ取った子が一人入るとまた一人…といった調子でどんとどんと子ども達が入っていき楽しそうに笑い合っていましたよ。すぐに入らなかったのは子ども達の危機察知能力が育ってきているからだ后感心させられました。

肌触りが良かったのか裸足になって足の裏でその気持ちよさを感じている子もいました。



今までの園庭にはなかった大きな葉っぱを見て「おおきーい」と驚いていました。頭に付けてうさぎを表現したり、砂場ではその葉っぱをお皿にしたりと子ども達の想像が膨らんでいました。

This month's songs



♪まつぼっくり
♪山の音楽家





2さいピコ組



“あかい保育園”行ってみたいなあ！

もみのき組のお友達はお散歩などで新園舎を見かけると「みて！あかい保育園だよ」と。

「今度からみんながここで遊んだり、給食食べたり、お昼寝したりするんだよ！楽しみだね。」と会話をしながら新園舎での生活に期待に胸を膨らませています。

そんなある日、トイレでAくんが「みて！あかい保育園だよ！」と言いました。Aくんの視線の先を見ても木がいっぱいでも何も見えませんでした。

「あかい保育園どこにあったの？」と聞くと、「こっちからも見えるよ！」と。教えてくれたところからよく見ると木の隙間から新園舎が見えました。「ほんとにあったね！あかい保育園見えるね。」「あかい保育園行ってみたいね。」と、しばらく新園舎を見ながらわくわくときどきを共有しました。



・はじめての新園舎

こっちにも あっちにも なんかないよ！

はじめて新園舎を見学に行く日。

朝のお集まりで「今日は新しい保育園を見に行きたいと思います！」と保育者が話すと…

「ええ！あかい保育園行きたい！」「だれかいるかな！？」

「おおかみいるかもしれない！」と2歳児らしい想像を働かせながらウキウキしていました。

そして新園舎に着くと、「こっちには何があるのかな！」

「ロッカーがある！わたしのあるかなあ！」と探索が始まりました。新しいロッカーには個人マークがあるもののまだお荷物は入っていません。「まだお洋服ないねー」「これからお洋服はいるよ！」と伝えると「やったー！！」と嬉しそうでした。





・わたしも！ぼくも！一緒にたのしい！

屋上園庭に行くと「おうちがある！」「みて！ここ登れたよ！」「お花が咲いてる～」と、新しいものが沢山あり大興奮。

「あんなところにスカイツリーがみえるよ～」「きれいなお花咲いてるね。」

「走ると気持ちいいね！」

そんなちょっとした会話や出来事でも「Bちゃんも見たい！」「Cちゃんも！」と好奇心旺盛で、全て“わたしも知りたい！やってみたい！”状態でした。

そんな中、ブランコを発見したBくん。「Cちゃんもよろ～！」と2人で並んでブランコをこぎ始めました。その時「ぼくもやりたい～！」とDくんがやって来ました。しかし、ブランコは2つで2人はやり始めたばかり…

「かわって！」「あとでね！」「ええー…」とDくんには悲しい展開になってきました。

「じゃあ、おしてあげるね！」とDくん！そこから3人はニコニコ笑顔。ブランコに乗らなくてもみんなと一緒に空間を楽しみ、しばらくそのまま遊ぶと結局Dくんはブランコには乗らずに3人で追いかけっこがスタートしました。



新しい環境になることが不安な様子な子はいなくて、むしろ楽しみで仕方がない様子でとても安心しました。大好きなお友達が待っている“あかい保育園”。みんなと一緒に色々なことを共有して、また新たに楽しい思い出を沢山作っていただいたいと思います。新園舎でのもみのき組さんの成長も楽しみです！



This month's songs

♪やきいもグーチャーパー
♪どんぐりころころ



3さいナノ組



新しい保育園に行ってきました！



お散歩などを通して、いつも外から見ていた赤い建物。前を通る度に、「ここが保育園だね」「まだ工事しているね」などと、意識していた子ども達。朝のお集まりで、今日は新しい保育園に行く事が出来るんだよ！と話すと、「あの赤い保育園だ」「やったー」と大喜びでした。



新園舎の玄関を入ると、みんな緊張ぎみ。自分のマークをみつけると、「靴を入れてもいい？」と、確認していました。入ってすぐの所にある、大きな木に、Aさんが最初に座ると、次々とみんなが座り始めいつの間にか長い列ができました。楽しみより、知らない場所にドキドキしていた子ども達。

ここから2グループに分かれての見学がスタートしました。



何があるんだろう～??

自分たちの部屋に到着すると、ロッカーにある自分のマークの確認をしたり、机と椅子を見つけて「事務所みたい」「水道がちょっと変わってるね。少し青いよ」と、ちょっとした変化にも気付いていました。部屋の中にある、タオルかけを見て、「先生、名前がないよ」と教えてくれました。そこで、どうしたらみんな困らないかな？と伝えると「自分のマークを貼ったらいいと思う」「ここに掛けて先生が言う！」と、色々考えてくれましたが、なかなか答えが見つからず・・・そんな時、Bさんが「優しい気持ちで置いたらいいと思う」と、一言！その場が和やかな雰囲気になりました！





屋上へ出ると、「お花のトンネルだ！」とCさん。「森の奥に続いているね」と、期待をしながら覗いてみると、トンネルのような木を発見。登ってみたり、「ちょっとつるつるで滑る」と、感触も教えてくれました。Y字の木を見て、両手でYを作り「見て！この木はこうでしょ！」と真似してみたり。嬉しそうでした。

屋上には、沢山の草花が咲いています。「何かの匂いがするよ？」と、鼻を近づけていました。「パセリの匂い！セロリの匂い！」や「お料理する時の匂いがする」「何でお料理の匂いがわかったの？」と、聞いてみると、「お家で、卵を割った時にしたよ」と教えてくれました。

最後は、ホールへ移動。

ホールに入り、「ここで何して遊びたい？」と聞いてみると「誕生日会」「お人形を並べたい」「ケーキを焼いて並べたい」「ピザを焼きたい」など、盛り沢山。やりたい事がいっぱいの子ども達。

新園舎に行く日が待ち遠しいです。



This month's songs

♪たき火

♪やきいもグーチャーパー



4さいナノ組



「赤い保育園に行けるの!？」

「明日は新しい保育園の見学にいきます。」

と帰りの会で子どもたちに伝えると「あの赤い保育園？」

「やった〜！」と嬉しそうに答えます。

そして翌日の朝、何人もの保護者の方から、「今日は新園舎に行くのですね。」とお話がありました。新園舎を見に行くのを子どもたちが楽しみにしている気持ちが伝わってきました。

新園舎に入って新しい床を見た子どもたちは「気持ちいい〜。」と寝ころびました、しかも大の字…! 「先生も寝たら〜。」と誘っていました。大きなひのきを見ると「ワニ!」と指さし、並んで背中に乗りました。



「ここは何〜??」

2階に上がると、「うわ〜!ひろ〜い!」と大興奮の子どもたち。1番の盛り上がりを見せたのが『ステージ(舞台)』でした。

子どもたちは階段を駆け上がり自由に走ったり跳ねたり大騒ぎ!

「ここは何なの?」とSさんが訪ねてきました。「ここはお歌を歌ったり、楽器で演奏したりするのをみんなに見てもらおう場所だよ。」と伝えると、キラキラした眼で「へ〜早くやりた〜い!」と期待感でいっぱいでした。





自然の中で過ごす時間

緑豊かな屋上庭園では、「先生、これあげる。」とKくんが白い小さな花を摘んでくれました。嬉しくなってもっと積み始めるKくん「園長先生にもあげてきたら？」と勧めると、何か話をして小走りに戻ってきました。「園長先生がお部屋に飾って良いって言ってた〜。」と嬉しそうに教えてくれました。自然を通して人とのつながりが深まったように思いました。



「小さな芽があるよ！」

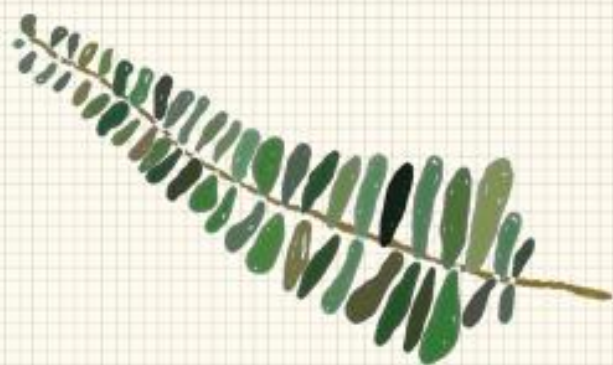
2階の窓を開けると大きな花壇があります。Sさんが「ここは種とかお花を埋めるところ？」と目の付け所が鋭い…！

そばまで行くと、みんなは花壇を囲むようにしてのぞき込んでいました。

Sくんが「ねえ、小さな芽がある！」と口にする、「え、どこどこ？」「ほんとだ〜」

「何が生えてくるんだろう…。」とみんなで考えを巡らせていました。

サツマイモや豆苗を育て、植物に興味を持つあすなろ組さん。ここでどんな発見や学びができるのか楽しみです♪



This month's songs

♪真っ赤な秋

♪たき火



5さいナノ組



ぼくたちのほいくえん♪

運動会を通して、友だちと励まし合ったり、力を合わせて乗り越えたぼぶら組の子どもたちは、より一層絆が深まりました。そんなぼぶら組は新園舎のことで頭がいっぱい！今月は、子ども達が見学に行った時のエピソードをお伝えしたいと思います。

大きな門の前に着くと「すごい！」「お城みたい！」と子どもたちから歓声があがりました。に入った瞬間、「木の匂いがする！」と驚いた様子で、エントランスにある木のベンチを発見し、触ったり座ってみたりと大興奮。ワクワクしながら自分の下駄箱を探し、靴を入れたら園内探検出発です！

階段を上ると、「わあ～広い！」と驚く子どもたち。まず始めに目に入ったものは、クラス表示。名前を考えたり、中の飾りも自分たちで作ったり、時間をかけてじっくりと取り組んだ事もあり、思い入れもたくさんあります。しばらく見つめながら「これは僕たちが作ったやつだね」「こっちから見るとキラキラするようにしたの」「この形はだんだん大きくなることを考えて作ったんだ」と自分たちの作ったクラス表示に得意顔で説明してくれました。そして、奥へ進むと見えて来たものは・・・！

わたしたちの大舞台！

みんなが注目したのは大きな舞台！旧園舎にも、仮園舎にもなかった大きな舞台を見て、とても嬉しそうです。「舞台に乗ってもいい？」とドキドキしながら聞くAくん。みんなで乗ってみることにしました。「広いね」「発表会ここで出来るね」「みんな出られるくらい大きい」と舞台に立つと自然に客席側を向いてポーズ取ってみたり、歌い始めました。

そして、ふと窓の外の空中庭園を見つけたBくん。「土が入ってる！」「あさがおを植えるんじゃない？」「水が出るところも付いているから、野菜も出来るね」「どんな野菜がいいかな」と想像は広がります。



屋上庭園へ出てみると、「森みたいだね、あっ！ブランコもあるよ。これ乗れるの？」と座ってみたAさん。上を見上げて「空が大きいよ」と大喜び、順番でブランコに乗り、大きな空を見上げていました。その先に大きな木があるのに気付いた女の子達「この木、ハートに見えるよ」と、様々な木や草花に触れてみたり、匂いをかいでいました。四季折々の自然を感じられる庭園で、これからどんな発見をしていくのでしょうか、楽しみです。



たくさんの木に囲まれて

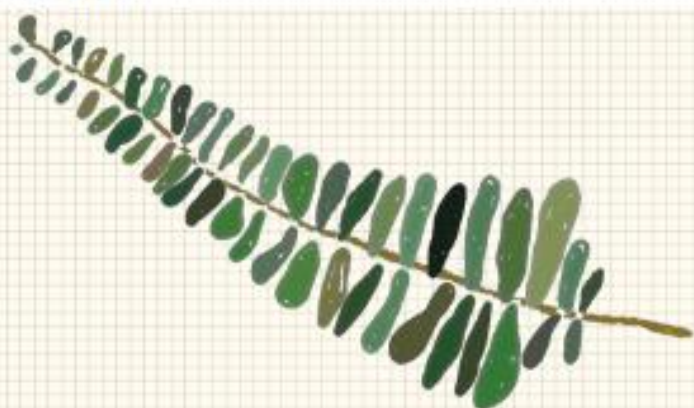


見学をしている時、様々な所にある木を見て「なんで、ぜんぶ木でできているの？」とC君が言いました。「アルテ子どもと木の幼稚園だから？“子ども”は私たちで、ここが“木”ってことだよな？」とDちゃん。新しい保育園になるのは子ども達もずっと楽しみにしていました。保育園の名前もクラスの名前も変わり、戸惑う事もあるでしょう、しかし年長児になり名前決めを任されるなど子どもたちのこれまでの経験が自信となっています。このたくさんの木のように、のびのびと新園舎での生活を楽しんでいきたいと思ひます。



This month's songs

♪むしのこえ
♪レッツゴー-いいことあるさ





ほけんだより

新型コロナウイルス感染症が流行している中、冬が近づいてきました。

毎年11月から3月ごろにインフルエンザが流行します。インフルエンザかなと思っても、新型コロナウイルスに罹患している可能性があります。発熱や咳、喉の痛み、倦怠感など共通する症状もあります。手洗い・消毒・うがい・換気・マスクの着用・保湿・インフルエンザ予防接種などお子さんの年齢にあった予防対策を行い周囲の大人も注意していきましょう。



新型コロナウイルスとインフルエンザの違い インフルエンザと比べてわかる新型コロナウイルスの特徴

新型コロナウイルスのここに注意！

- ◆無症状の時期にウイルス排出中
感染後、無症状の時期に上気道（のど・はな）へのウイルス排出が多く飛沫等による感染力が強い
- ◆潜伏期間が長い（2～14日）
ウイルスに感染しても症状を自覚しない内に広めてしまう可能性あり
- ◆感染力が強い
1人の感染者が直接感染させる人数が多く拡大しやすい
- ◆発症後、症状消失までが長く、つらい
- ◆肺炎になりやすい
下気道（気管・肺）がおもな感染部位なので肺炎になりやすい
- ◆接触や飛沫の他にトイレも…
便からの感染も考えられておりトイレで感染する可能性も



インフルエンザについて

- 潜伏期間が短い（平均2日）
すぐに発症を自覚して感染拡大させないための行動が出来る
- 上気道（のど・はな）へ主に感染し、肺炎になりにくい
- 抗ウイルス薬がすでに複数ある
- ワクチンがある ●抗体も出来る
- 経過は急激に発症し、多くは4～6日程度で症状消失



新型コロナ「まだわからない」 「研究」も沢山

- ・抗ウイルス薬の効果も研究中
- ・検査精度の問題もあり、時間がかかる
- ・死亡率や抗体（防御力）も不明
- ・型違いや流行シーズンもまだわからない
- ・原因は不明だが子どもは重症化しにくい

参考資料（株）SMART119

新型コロナは症状が出た時にはもう周囲へ感染させている可能性が高いです。症状がない人も含めてみんながマスクをすることが感染伝播を抑制することになり、有効なワクチン、治療薬が整うまではソーシャルディスタンスが有効です。



インフルエンザの予防接種を受けよう

インフルエンザの予防接種は、発症を抑え、肺炎や脳炎などの合併症を防ぎ、重症化防止効果があります。ワクチンは効果を発揮するまでに約2週間かかり半年程度効果が期待できます。
中野区では、小児インフルエンザワクチンの助成があります。
 対象者：中野区に在住する生後6ヶ月から小学校就学前の幼児
 助成額：1,000円（1回につき）
 助成期間：令和2年10月1日から令和3年1月31日まで

新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されています。日本感染症学会からも乳幼児は予防接種を受けるように推奨されています。





食育だより



2020年11月

朝晩冷え込む日が増えてきました。「子どもは風の子」と言って、外で遊ばせることは望ましいのですが、やはり体調管理には気をつけてあげたいものです。風邪の原因の多くはウィルス感染です。気温や湿度が低くなる時季には、呼吸器粘膜の抵抗力が弱まってウィルスが繁殖しやすくなります。

風邪をひかないためにもたんぱく質、ビタミンC、ビタミンAの栄養素をバランス良く摂取するようにしましょう。



食事で風邪に負けない体づくりをしよう！！

◆体を温めよう◆

ウィルスなどの外敵と戦うために、血液循環を良くすることで免疫力を高めます。



香味野菜

スープや鍋料理

◆たんぱく質を摂ろう◆

基本的な体力をつけて抵抗力を高めます。



肉・魚・卵

大豆や乳製品

◆ビタミンを摂ろう◆

ウィルスの感染や寒さへの抵抗力をつけ、のどや鼻の粘膜を丈夫にしてウィルスの侵入を防ぎます。



色の濃い野菜や果物



きのこのおはなし



11月の旬の食材はきのこ。スーパーに行くと、椎茸やえのき、しめじ、ひらたけ、エリンギなどのたくさんのきのこが並んでいます。きのこには、ビタミンB2や食物繊維がたっぷり含まれていますが、残念ながら子どもたちには嫌われやすい食べ物です。エリンギやブナピーは独特の匂いが薄いため、きのこを好きになるきっかけづくりにぴったりです。小さく刻んで、オムレツや肉料理に入れてみるのもおすすめです。

子どもたちに大人気!! 献立紹介

まんまるじゃが



【材料】(4人分)

- ・じゃが芋 中2個
- ・塩 少々
- ・片栗粉 小さじ4
- ・ダイスチーズ 25g
- ・片栗粉 大さじ3
- ・揚げ油

【作り方】

- ①じゃが芋の皮をむいて茹でてつぶす。
- ②①に塩、片栗粉、ダイスチーズを加えて丸く団子にする。
- ③②を転がして片栗粉を表面につけながら、180℃の油でカラッと揚げる。



Atelier



「子どもの時間と センスオブワンダー」

運動会のリレーの練習でしょうか、赤青のバトンを持って全速力で走っています。

遊びなれた園庭とは違う場の中で、すぎのこ組の子ども達は環境と様々な関わり方を楽しんでいます。

茂みの付近で虫を探していた数人の男の子が、何やら集まって大興奮。どうやら虫以上の大物を見つけたようです。全く臆することもなく、グッタリしているお腹をツツツツと優しく触っています。女の子も一緒に覗き込み「私にもさわらせて〜」と興味津々の様子。



植え込みの方からやって来たHくんが、両手に大きな枯葉を持ち「カッコイイ葉っぱをみつけた。」とニコリ笑って私に見せてくれました。「へー！どんなふうにカッコイイの？（私）」「こっち【右】はね、魚の葉っぱ！！ こっち【左】はね〜ん…（Hくん）」「うんうん、こっちは？（私）」「ん… こっちは〜 カッコイイんだよ！！（Hくん）」

Hくんは落ち葉に、Hくんの感性を刺激する二つの「美しさ」を感じていました。それは、一方は具体的（魚のような形）な、もう一方は抽象的（言葉で表すことの出来ない）なもの。

「美しさ」の感じ方は一人一人違い、まさに十人十色です。自分の中にでさえ、様々な「イイ感じ」があることを子ども達は教えてくれます。

心と反対に目を向けると、Rさんがしゃがみ込みじっとしている背中が見えます。何か見つけたのかな？と思い、私はRさんの邪魔をしないように静かにゆっくりと近づき、様子を伺いました。

Rさんは地面の細かな砂を集めています。そしてそれをすくい上げると反対側の腕の上にサラサラと落としています。握った手のひらの砂が無くなると、また集めて腕に落とします。それをゆっくりと、何かを味わうように何度も何度も繰り返しているのです。



私はどう声をかけたらよいか少し考え「どんな感じがするの？」とRさんに尋ねました。

Rさんはいつものニッコリ笑顔で微笑むと、何も言わずまた同じ行為を繰り返します。

（ そうだ、私も同じことをしてみればよいのだ ）

手を広げ、地面の砂を集めます。地面に沿って手を動かすとチクチクと土から飛び出した石の頭を感じます。手の中に集まった砂はつかみ上げると小指の方から少しずつこぼれ落ち、強く握りしめたはずなのにだんだん痩せていくような感覚です。手の中の砂が無くなる前に、反対の腕に落としてみます。すると…（ ア～ ナント ココチヨイ…… ）



それは想像もしていなかった感覚。落ちてくる砂は予想外に冷たく、砂が腕にあたるというより「冷たさ」という感覚が腕に落ちてくるような、何とも言葉にできない感じです。

（ Rさんはこの繊細な感覚を、繰り返し繰り返し味わっていたんだ… ）

何度も何度も味わいたい気持ちが分かります。この感覚は味わった人にしか分かりません。それからしばらくの間、私はRさんの横で一緒にこの感覚を味わいました。言葉は交わりませんが、目を合わせ二人で笑顔になりました。

子どもには子ども一人一人の時間の流れがあります。今回私はRさんの時間の流れに寄り添い、同じ行為をしてみることで、この心が満たされるような特別な感覚〔センス オブ ワンダー〕を心ゆくまで味わうことができました。子ども達はこんなふうに環境と関わり、世界の存在を知り、それと同時に自分が今ここに生きていることを確かめているのでしょう。私達大人は過去の経験というビッグデータから未知のことを類推していますが、子どもはまさに今、全身の感覚を研ぎ澄ませて世界というビックデータ（豊かな感性）を蓄えています。だからこそ私達大人は、限られた時間の中でも一人一人の子が満足のゆくまで物事に関わることができるよう、出来る限りの努力と工夫をしたいと思っています。

さて、待ちに待った新園舎での生活が始まります。

今回私给大家介绍したいのは、環境の中に現れる「光と影」です。新園舎では遊具や自然木だけでなく、季節や天気そして時間とともに変化する光と影が今まで以上に子ども達の感性を刺激し、一人一人の子が自分だけの特別な感覚〔センス オブ ワンダー〕を感じてくれることでしょう。



